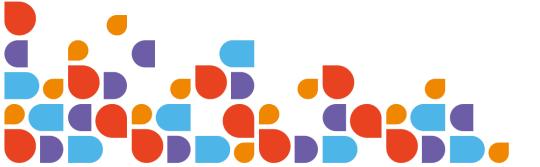


2024年2月期(2023年度)第1四半期決算補足資料

イノベーションとコミュニケーションで 社会の豊かさを支える

株式会社ベルシステム24ホールディングス 2023年7月12日



証券コード:6183

2024年2月期 (2023年度) 第1四半期 決算サマリー



- 売上収益は394億円で、前年同期比+0.3%の増加
- 営業利益は41億円で前年同期比△3.3%の減少、当期利益は29億円で前年同期比 +15.1%の増加

	売上収益	394 億円	前年度比	+ 0.3 %
連結業績	営業利益	41 億円	前年度比	△ 3.3 %
	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	29 億円	前年度比	+ 15.1 %

2024年2月期 (2023年度) 第1四半期 決算概要



- 売上収益は393.7億円と前年同期比+1.3億円(+0.3%)の増加
 - ・基礎業務は357.6億円と新規・既存業務の拡大等により前年同期比+32.4億円の着実な増加
 - ・コロナ等国策関連業務は34.4億円と前年同期比△30.4億円の減少
- 営業利益は、41.4億円と前年同期比△1.4億円(△3.3%)の減少
- 四半期利益は、29.4億円と前年同期比+3.9億円(+15.1%)の増加
 - ・持分法による投資損益の増加、金融費用、法人所得税費用の減少等により、前年同期比で大幅に増加

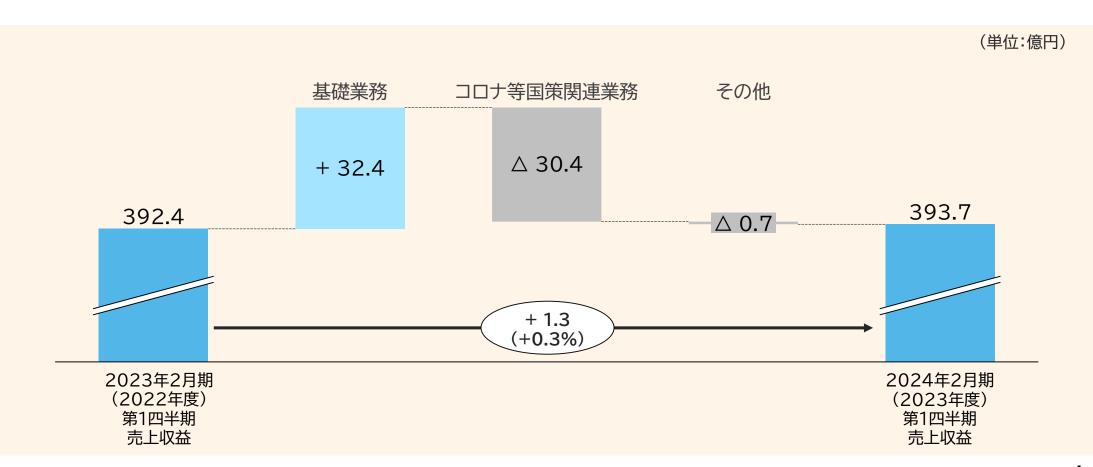
(単位:億円)

	2023年2月期 (2022年度) 第1四半期	2024年2月期 (2023年度) 第1四半期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	連結業績予想(計画)	進捗率
売上収益	392.4	393.7	+1.3	+0.3%	1,570.0	25.1%
内、基礎業務	325.2	357.6	+32.4	+10.0%	1,451.0	24.6%
内、コロナ等国策関連業務	64.8	34.4	△30.4	△47.0%	110.0	31.2%
内、その他	2.4	1.7	△0.7	△28.9%	9.0	19.1%
営業利益	42.8	41.4	△1.4	△3.3%	138.0	30.0%
営業利益率	10.9%	10.5%			8.8%	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	25.6	29.4	+3.9	+15.1%	88.0	33.5%

2024年2月期 (2023年度) 第1四半期 売上収益の増減分析



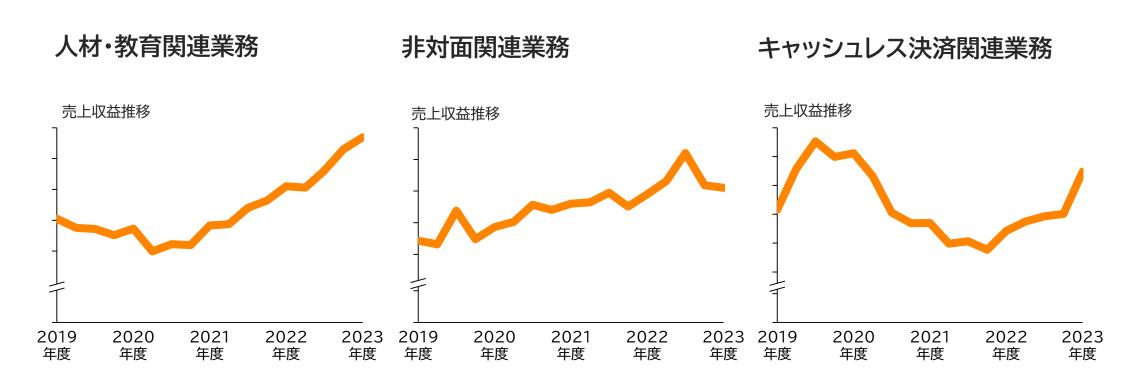
- **売上収益は393.7億円で、前年同期392.4億円から+1.3億円(+0.3%)の増加**
- 基礎業務は、人材・教育関連業務、キャッシュレス決済関連業務が好調であったことに加え、ベトナム子会社の連結子会社化に伴う売上収益増加もあり、前年同期比+32.4億円(+10.0%)の増加
- □ コロナ等国策関連業務は、ワクチン関連業務の減少が大きく、前年同期比△30.4億円(△47.0%)の減少



2024年2月期 (2023年度) 第1四半期 基礎業務の注目分野



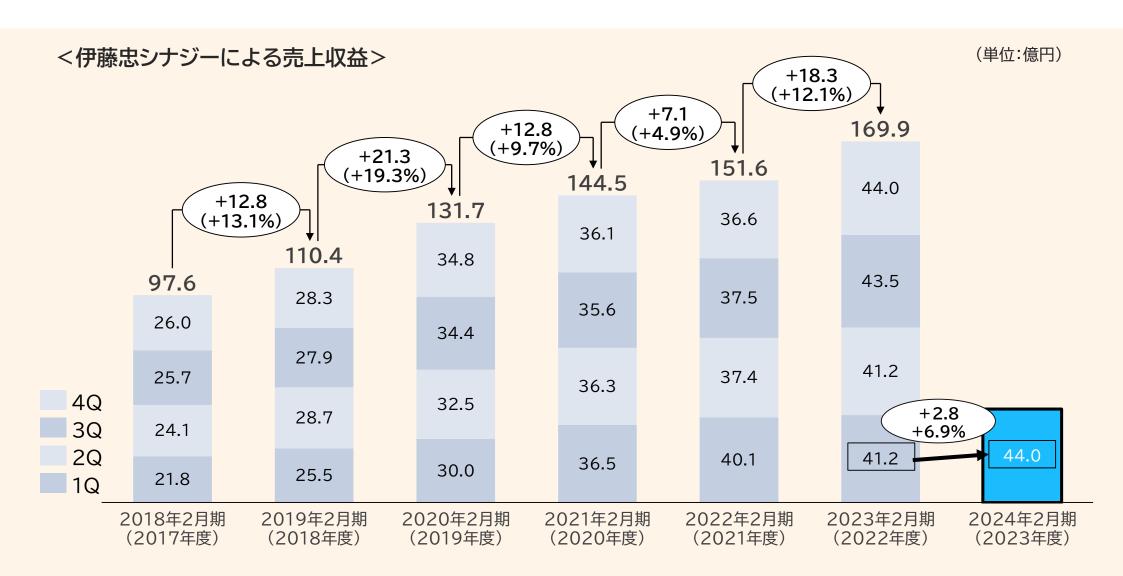
- ─ 人材・教育関連業務では、企業の採用ニーズが引き続き高く、中途斡旋関連の業務が好調
- 非対面関連業務では、Eコマース関連業務、デリバリー関連業務は前年半ばから減少しているものの、 保険関連業務は安定的に推移しており、全体的には堅調
- キャッシュレス決済関連業務では、QRコード決済関連業務の堅調な推移に加え、クレジットカード関連 業務も大きく増加



2024年2月期 (2023年度) 第1四半期 伊藤忠シナジー



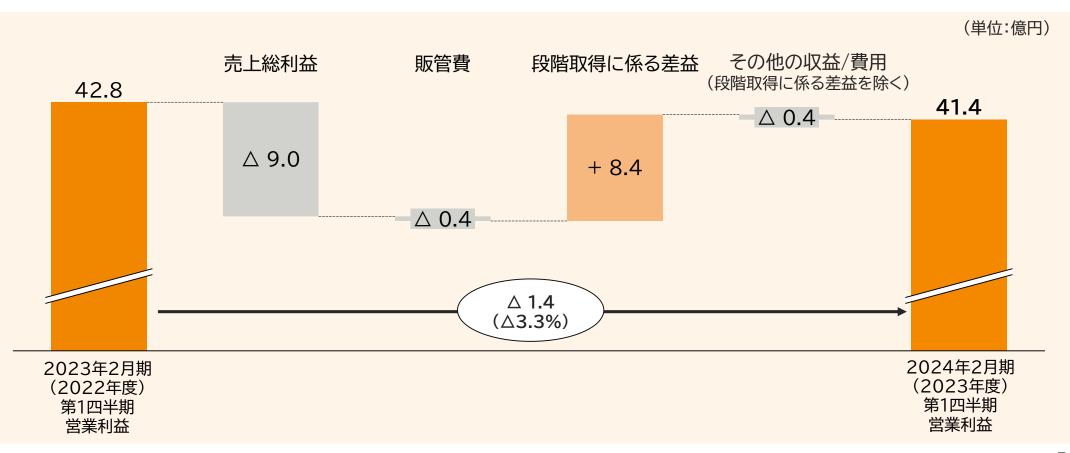
─ 伊藤忠シナジーの売上収益は、44.0億円、前年同期比+2.8億円(+6.9%)と、主に通信キャリア、保険、 ヘルスケア関連等が増加



2024年2月期 (2023年度) 第1四半期 営業利益の増減分析



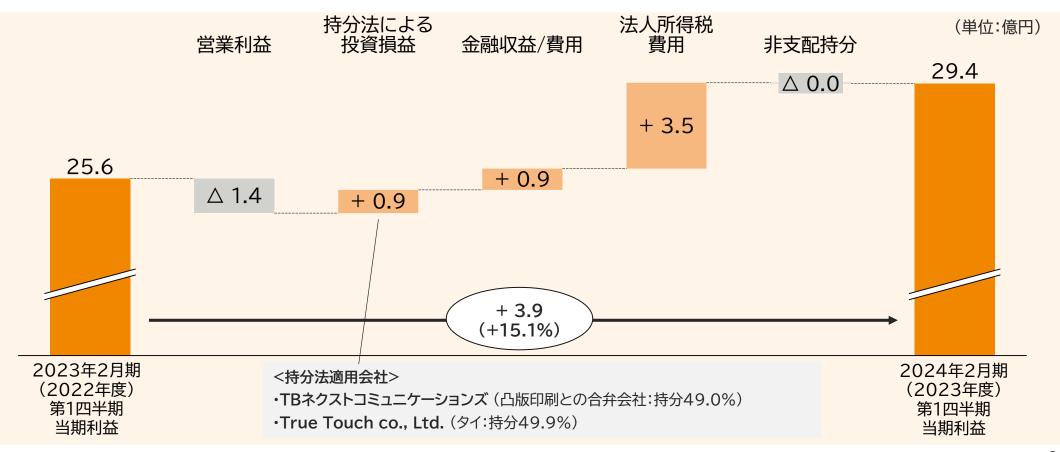
- 営業利益は41.4億円で、前年同期比△1.4億円(△3.3%)の減少
- 売上総利益は、基礎業務の増収効果はあったものの、高収益のコロナ等国策関連業務の減少が大きく 影響し、また、人件費、家賃等の上昇もあり前年同期比△9.0億円の減少
- ベトナム子会社の持分法から連結子会社への区分変更に伴う段階取得に係る差益8.4億円を計上



2024年2月期 (2023年度) 第1四半期 当期利益の増減分析



- 当期利益は29.4億円で、前年同期比+3.9億円(+15.1%)の増加
 - ・法人所得税費用は、主に段階取得に係る差益の影響等により減少し、前年同期比+3.5億円の増益要因
- ─ 持分法による投資損益は、前年同期比+0.9億円の増加
 - ・TBネクストコミュニケーションズ、及びタイのTrue Touchは、前年同期から改善が進み黒字転化
 - ・ベトナム子会社(Bellsystem24-Hoa Sao JSC)は、前年同期で横ばい (※)
 - ※ ベトナム子会社(BELLSYSTEM24 VIETNAM Inc.)は、2023年3月に株式を追加取得してBellsystem24-Hoa Sao JSCから 社名変更し、2023年4月以降は持分法から連結子会社へ区分を変更



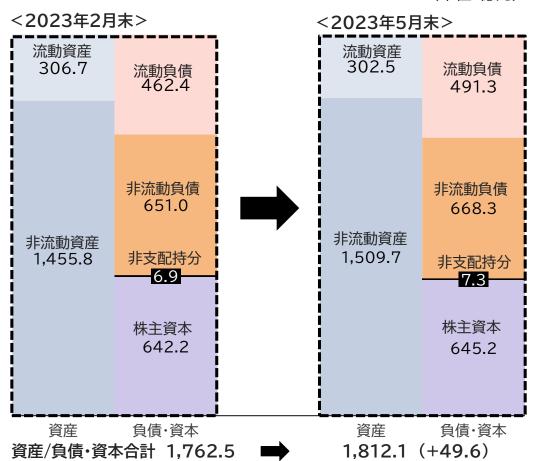
2024年2月期(2023年度)第1四半期 連結財政状態計算書



- **2023年5月末の株主資本は645.2億円と、前年度末642.2億円から+3.0億円の増加**
- ー ネット有利子負債残高は476.9億円と、前年度末478.2億円から△1.3億円の減少

連結財政状態計算書の概要

(単位:億円)



<主な内容>

資産/負債·資本合計増減額	+49.6億円
内、ベトナム子会社の新規連結影響	+22.6億円

ネット有利子負債残高476.9億円借入金(流動負債)174.0億円長期借入金(非流動負債)374.8億円現金及び現金同等物(流動資産)△71.8億円

2024年2月期 (2023年度) 第1四半期 連結キャッシュ・フロー計算書



営業活動によるキャッシュ・フロー +55.8億円

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:億円)

投資活動によるキャッシュ・フロー ▲12.2億円 <主な内容>

設備投資

▲8.2億円 ・有形・無形資産の取得による支出 事業投資

・有価証券の取得による支出 (ヘルスケア関連への出資)

▲5.0億円

財務活動によるキャッシュ・フロー ▲41.8億円

<主な内容>

・短期/長期借入金の増減額

・配当金の支払額

・リース負債の返済による支出 (使用権資産に係る支出額)

+0.5億円

▲22.1億円

▲18.1億円

	2023年2月期 (2022年度) 第1四半期	2024年2月期 (2023年度) 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	64.5	55.8
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5.7	▲ 12.2
内、有形・無形資産の取得による支出	▲ 5.3	▲ 8.2
内、有価証券の取得による支出	▲ 0.5	▲ 5.0
フリーキャッシュ・フロー	58.8	43.6
フリーキャッシュ・フロー	58.8	43.6
フリーキャッシュ・フロー 財務活動によるキャッシュ・フロー	58.8 ▲ 25.0	43.6 ▲ 41.8
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 25.0	▲ 41.8
財務活動によるキャッシュ・フロー 内、短期借入金の増減(△は減少)	▲ 25.0	▲ 41.8
財務活動によるキャッシュ・フロー 内、短期借入金の増減(△は減少) 内、長期借入れによる収入	▲ 25.0 21.0	▲ 41.8 8.0 –

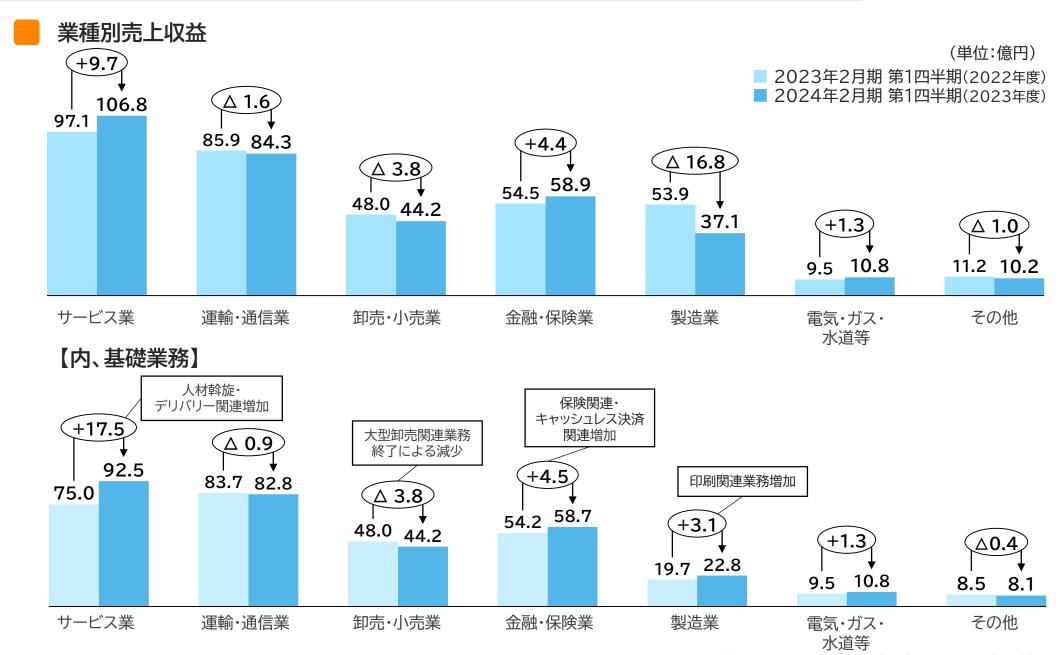
[※] フリーキャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動による キャッシュ・フロー



APPENDIX

2024年2月期 (2023年度) 第1四半期 業種別売上収益

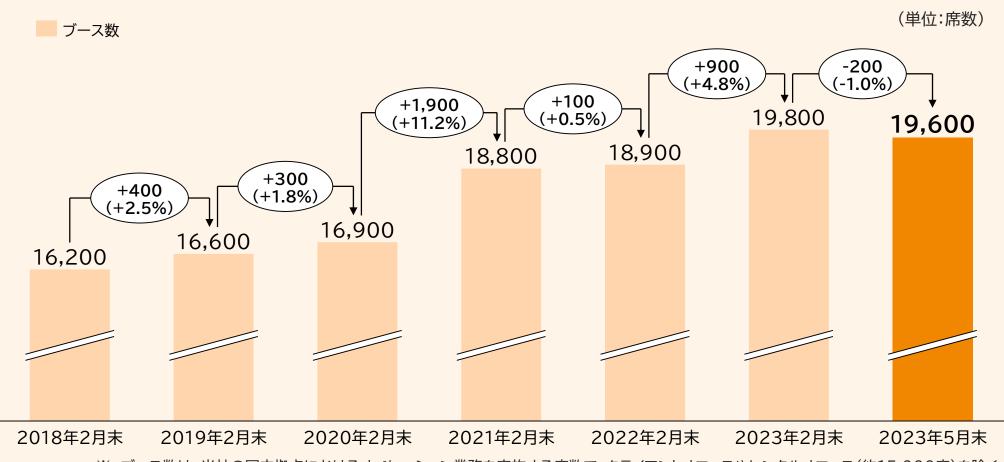




拠点ブース数の状況



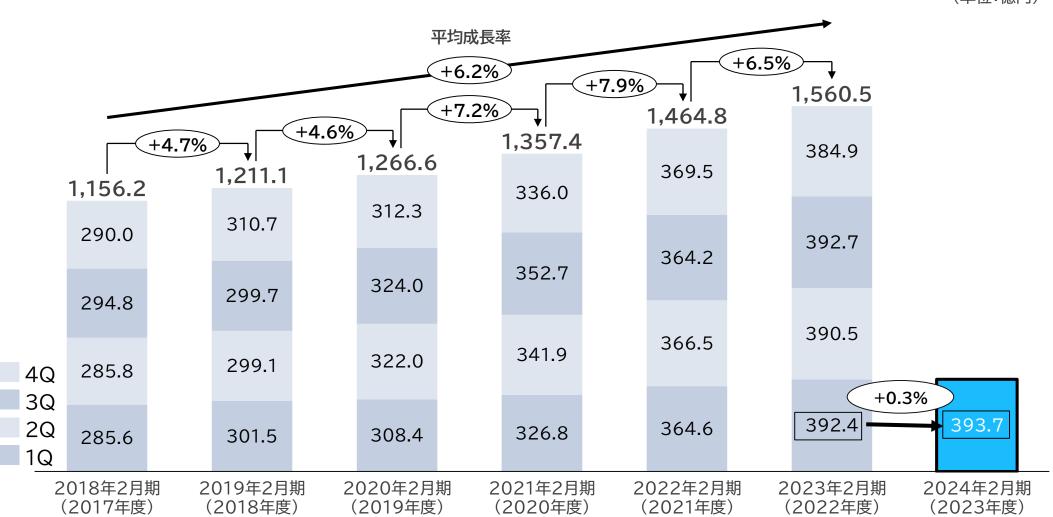
- 2023年5月末の国内拠点は38拠点、地方拠点を増床・拡大し、首都圏で1拠点をクローズ
- ─ ブース数は19,600席と、コロナ関連業務の縮小に対応し、前年度末比約200席の減少



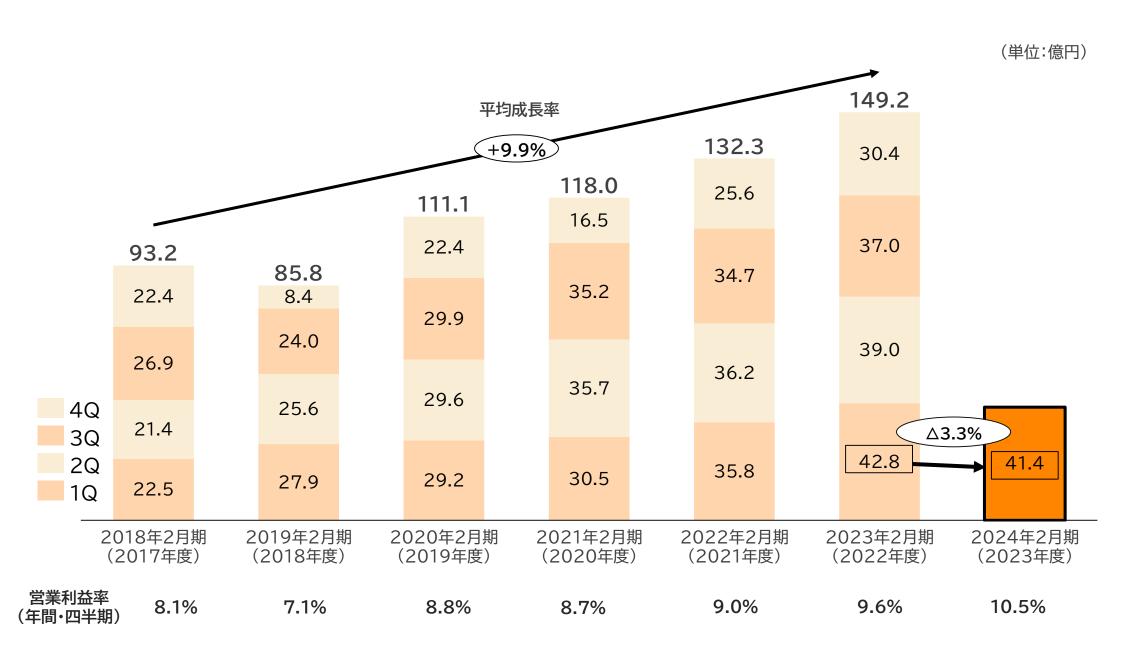
※ ブース数は、当社の国内拠点におけるオペレーション業務を実施する席数で、クライアントオフィスやレンタルオフィス(約15,000席)を除く



(単位:億円)

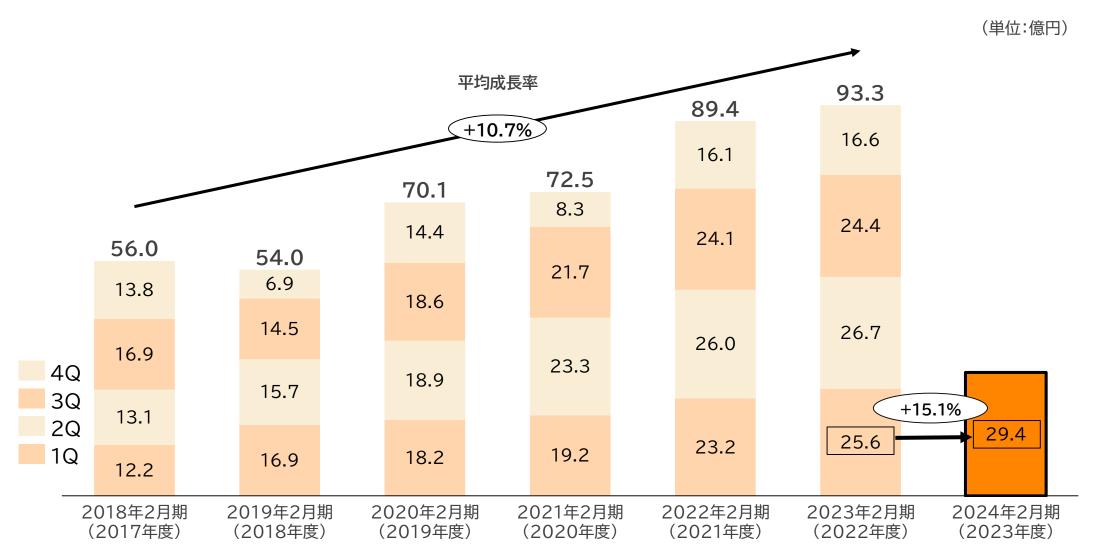






当期(四半期)利益の推移





※ 当期(四半期)利益=親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益



ご注意

本説明および参考資料の内容には、将来の当社業績に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづくものであり、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これら業績に関する見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

Bell System24